

実用・メタン発酵技術セミナー

～メタン発酵が担う地域循環型社会の輪～

古くから廃棄物や廃水の処理技術として利用されてきたメタン発酵技術。地球温暖化防止や地域循環型社会が叫ばれる今、もう一度メタン発酵について考えてみませんか？ 国内外のメタン発酵の普及状況や施設の紹介、課題点などを分かりやすく解説して頂きます。

主催：静岡県、静岡県資源環境技術研究会、静岡燃料電池技術研究会
後援：(社)静岡県環境資源協会、静岡県環境ビジネス協議会

日時 平成 23 年 2 月 2 日(水) 13:30～17:00

会場 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」

(静岡市駿河区馬淵 1 丁目 17-1 TEL 054-250-8147)

内容

講演 1: 13:35～14:35 (60 分)

「循環型社会の形成と地球温暖化防止に貢献するメタン発酵」

日本大学大学院総合科学研究科教授 東北大学名誉教授
野池達也 氏

メタン発酵は廃棄物系バイオマスより、バイオガスエネルギーと液肥を生産できる点において、他の如何なる処理プロセスの追従も許さない卓越したプロセスです。本講演では、日本ならびに外国におけるメタン発酵の普及の現状と、メタン発酵の循環型社会の形成と地球温暖化防止に対する役割について論じたいと思います。

講演 2: 14:45～15:45 (60 分)

「メタン発酵施設の現状」

社団法人地域資源循環技術センター バイオマスチームリーダー
岡庭良安 氏

メタン発酵技術は家畜排泄物、生ごみ、し尿、下水、食品廃棄物など、様々な分野で活用されています。国内で稼働しているメタン発酵施設を例に挙げ、適用の背景と課題について紹介したいと思います。

講演 3: 15:55～16:25 (30 分)

「缶詰工場からのシロップ排液を利用したエネルギー回収システムの開発」

静岡県工業技術研究所 環境科 上席研究員
酒井 奨 氏

静岡市内の缶詰工場からほぼ毎日排出されているシロップ排液を、メタン発酵処理してバイオガス化し、ガスエンジンで電気と熱(温水)を作ります。平成 22 年 1 月より稼働を開始した本システムの発案に至った経緯や、メタン発酵の効果などを紹介したいと思います。

定員
参加費
アクセス

50名(定員を超え次第、締め切らせていただきます。)

無料



・JR 静岡駅北口を出て、左手の郵便局をまがり、国道1号沿いに西へまっすぐ
徒歩約9分

・しずてつジャストライン(バス)

丸子清閑町線(3番のりば) 丸子営業所行き 西門町下車 徒歩1分

中原池ヶ谷線(3番のりば) 徳州会病院行き 商工会議所前下車 徒歩4分

申込〆切 平成23年1月28日(金)

申込方法 会社名・会社住所、所属・氏名、連絡先(TEL等)を明記の上、メールもしくは次項のFAX票でお申し込みください。

参加票はありません。定員超過で御出席いただけない場合には、事務局から御連絡いたします。

お問合せ先

〒421-1298 静岡市葵区牧ヶ谷 2078 番地

静岡県工業技術研究所 環境科内

静岡燃料電池技術研究会 事務局 酒井 奨

TEL 054-278-3026 FAX 054-278-3066

E-mail sakai@iri.pref.shizuoka.jp

実用・メタン発酵技術セミナー 参加申込書

静岡県工業技術研究所 環境科内

静岡燃料電池技術研究会 事務局 酒井 奨

FAX 054-278-3066

平成 23 年 月 日

会社名	
会社住所	〒
TEL&FAX	TEL FAX
E-mail	

ご所属・役職など	氏名